

「第3次松江市子どもの読書活動推進計画（案）」に対する意見募集（パブリックコメント）の結果及び意見に対する市の考え方について

1. 意見募集の結果について

開催・調査期間	令和6年2月25日(日)～3月18日(月)
資料公開場所	市ホームページ、本庁・支所行政資料コーナー、公民館、市立図書館、中央図書館事務局
意見提出者数	3名
意見等項目数	8件

2. ご意見・ご質問の概要と市の考え方について

	いただいたご意見・ご質問の概要	回答
1	<p>◆全般「大人の読書活動推進について」</p> <p>大人も子どもと一緒に本を読む時間を作ることが大切。また、子どものお手本となるよう大人も本を読む時間を作らないといけない。家庭や学校で、大人が本を読む姿が子どもに響くので大人のプログラムもあってよい。</p>	<p>ご意見のとおり、身近な大人がどう関わっていくかが、子どもの読書活動推進に大きく影響するものと考えます。本計画においては、P15に記載のイベントの実施やP17に記載の読書週間等の機会をとらえた市民全体への計画の周知・読書活動推進の啓発などにより、子どもだけでなく、子どもを含めた市民全体に対して、読書活動推進の取組を行ってまいります。</p>
2	<p>◆P14 《読書推進》①児童・生徒への読書活動の啓発</p> <p>読書の時間を作るのは難しい。「本を読みなさい」と言って進んで読む子どもはそういない。学校での読み聞かせや朝読書の時間を設ける、授業の合間の本を読む時間の提供、読書の宿題が大事。</p>	<p>読書の時間や、本を介した学習活動などにより読書をする楽しさを十分に味わわせ、能動的に読書に向かう姿勢を身に付けさせ、読書の習慣化を図る取組をこれからも継続的に行ってまいります。</p>
3	<p>◆P14 《環境整備》①学校司書配置、ボランティア活用</p> <p>「学校司書の存在が不可欠です」と明記しているので、専門性を備えた司書を正規職員として雇用すべきである。勤務形態が縮小するのは疑問。逆に、学校の状況や業務内容によっては、勤務時間の少ない雇用もあっていいと思う。</p>	<p>学校司書の正規雇用については、他市の状況なども参考にしながら調査研究してまいります。学校司書は、児童生徒の読書活動や調べ学習が活発となるよう日々業務にあたっています。今後、業務の効率化、スリム化など、学校図書館運営の見直しを図りながら、各校の状況に適した、より効果的な運営を行ってまいります。</p>
4	<p>◆P14 《環境整備》⑤ラーニング commons の活用</p> <p>「ラーニング commons の活用」で、「協働的な学びを実現する新しい学びの場」とあるが、現行の学年・クラス単位の授業スタイルにどう活用できるのか。そもそも小学校で実施できるのか。具体性を明確に提示してほしい。</p>	<p>「ラーニング commons」は、従来の「読書・学習・情報」といった3つの図書館機能に、交流センターの機能を加えたフレキシブルな学びの空間として魅力ある場です。現行の学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの視点から「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」についても重視した授業改善が求められております。すでに多くの学校では、学習課題に対して、タブレット端末を活用するなどして、児童・生徒一人一人が自分のペースで学習を進める「個別最適な学び」や、ペアやグループになって話し合い、新しい発見や発想を生み出そうとする「協働的な学び」の実践に取り組んでいます。しかし、現時点では、従来からの講義型の授業スタイルを想定した狭い教室でこうした授業を行っており、新しい学びのスタイルの効果を十分に発揮できない環境下にあると言えます。こうした新しい学びのスタイルを効果的に実践できる場がラーニング commons であると考えており、まずは、令和6年度に供用を開始する揖屋小学校での実践を通して、より効果的な活用を考えてまいります。</p>
5	<p>◆P15 《人材育成》②司書教諭、学校司書研修</p> <p>司書教諭と学校司書が同席する研修を実施してほしい。</p>	<p>中学校区ごとに授業研修や、図書館に関わる運営研修、学校図書館活用教育研修などの司書教諭と学校司書が同席する研修を多く実施しています。令和6年度からは「学校図書館担当者スキルアップ研修」も加え、両者の連携を図りながら資質の向上を図る研修に努めてまいります。</p>
6	<p>◆P15 《読書推進》⑤イベントの実施</p> <p>子どもたちがワクワクし、本に親しむきっかけとなるイベントの開催を期待する（「図書館お泊り会」、夏休みのラジオ体操後に利用できる「あさの図書館」、「図書館マルシェ」など）。</p>	<p>具体的な提案をいただきありがとうございます。イベントの開催については、様々な可能性を考慮し実施していきたいと考えます。イベントを通じ、リニューアルし利用しやすくなった中央図書館をはじめ、各市立図書館をPRし来館者の増加や読書普及につなげてまいります。</p>
7	<p>◆16ページ ①書籍の充実・移動図書館車の巡回・配本</p> <p>仕事が休みの土日にも移動図書館車が利用できるよう利用拡大をしてほしい。</p>	<p>現在、移動図書館車は、図書館にアクセスしにくい地域に定期巡回をしています。平日には小学校、幼稚園、保育所、公民館、子育て支援センターなどを、土曜日は保育所や福祉施設を巡回しています。地域の方に利用していただけるのは、子育て支援センターや公民館ですが、コースを組んで、小学校や幼稚園とセットで効率的に巡回しているため、現在は平日のみとなっております。多くの地域の方に利用していただきたいと考えておりますが、現時点では、平日に自宅で育児をしている方や高齢者の方を念頭に巡回サービスを行うこととしています。なお、日曜日は、地域で開催されるイベント等（公民館祭りなど）の際に、主催者の依頼にもとづいて出向いておりますので、ぜひご利用ください。</p>
8	<p>◆P16 《環境整備》④電子書籍の導入の検討</p> <p>「電子書籍の導入の検討」とあるが、早急に検討し導入してほしい。あるジャンルに特化した資料（郷土資料など）だけでも導入してもらおうと、学校での資料を用いた学習での複本収集という司書の業務が無くなるので期待している。また、貸出・返却・予約処理の必要性がなくなり業務軽減ができるのではないか。</p>	<p>電子書籍については、いつでもどこでも借りていただけるという点から、市民の皆様にとって読書がより身近になることに加え、学校においては、授業での資料提供や1人1台タブレットを使つての朝読書等、幅広い活用が可能になると考えます。導入検討の際には、学校関係者も含め、様々な皆様からのご意見をお聞きし検討を進めたいと考えます。</p>